

あだちどまんなか



# 中島根

平成28年8月25日  
足立区立中島根小学校  
校長 武井利依  
平成28年度8.9月号

しのたま ひと しんな そか し  
子曰わく、人にして信無くんば、其の可なるを知らざるなり。

たいしゃ げいな しょうしゃ げつな そなに も これや  
大車に輓無く、小車に輓無くんば、其れ何を以って之を行らんや。

校長 武井利依

リオ五輪の感動を胸に子ども達は一回り大きくなって戻ってきてくれました。この夏も水泳教室や補習教室でがんばる子ども達、NHKのコンクールに参加したコーラス部、飼育委員会の活動やグリーンカーテンの手入れを担い、島根町会の盆踊りを盛り上げた5.6年生…それぞれの活動からも感動を受けました。さまざまに関わっていただいた方々に感謝申し上げます。

今夏は4年に一度のオリンピック開催年、地球の裏側まで観戦に行くことはできなくても、早起きしてライブで熱戦を目の当たりにした方も多かったことでしょう。新設された「山の日」も家族揃って様々な体験するための時間として、あるいは一緒にテレビ観戦をする時間として有意義であったと思います。記録にも記憶にも残る熱戦が繰り広げられたリオ五輪でした。日本の参加選手の平均年齢が25歳を下回るということで若い力の台頭も感じました。

日本は戦後71年目、新たな出発にふさわしいオリンピックとなりました。何より印象深かったのは「チーム日本」という意識の高まりが、個々の技術や努力の上に立ったチーム力を発揮させる原動力であったことです。夢は叶う、不可能なんてない、とも思わせてくれました。

足立区出身の22歳、競泳の中村克選手の応援にも力が入りました。卓球の団体では15歳のメダリストも誕生しました。メダリスト達の話を知るとロンドン五輪後にはすでに準備を始めていたとのこと。ということは、4年後の東京五輪に向けてすでに準備が始められているのです。しかし、今からでもまだまだ選手として参加することも可能です。選手でなくても開催国の一員としてどんな形でつながることができるか考え、準備していきたいものです。

冒頭の論語の章句は「人間であるのに人が必ずもっていなければならない信義の徳の無い者はよい人と認めることはできない。もしも大きな牛の車に輓（牛と車とをつなぐために必要な器具）が無く、（四頭立ての馬の）小さな車に輓（馬と馬をつなぐために必要な器具）がなければ、どうしてその車をあやつり進めることができようか。」とおっしゃったという内容です。「人にとって信じ合う心はとても大切なものです。信じ合う心は人にとってなくてはならないものなのです。」という教えです。人と人との結びつきを大切にしていかなければ、自分の実力を活かすこともチーム力を向上させることも望めないということなのです。

リオ五輪の数多い感動的な場面からたくさんのお話を教えてもらいました。日々の生活の中で信じ合うことを積み重ね、つながり、きずなを感じながら自分を磨いていきたいものです。それは自分のためであるとともに、他の人を感動させることへとつながっていくのです。

爽りの秋に向かって「㊦んだろうと㊦んがえて㊦んけん㊦なび㊦ぱりづよくつづけよう」を合言葉に力強く前進していくことを願います。

# 8・9月の生活目標：規則正しい生活をしましょう。

## 8・9月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
21	22	23	24 夏季休業終	25 午前授業 給食なし	26 SC 給食始	27 あだち 緑を育む会
28	29 交通安全教室 (3・6年) 委員会活動	30 SC 身体計測・日光 事前健診(6年) SSW	31 あだち 午前授業 身体計測(5年)	1 引き渡し訓練 身体計測(4年)	2 SC 大学遠足(4年) 身体計測(3年) 水泳記録会(6年)	3 区水泳大会 (6年)
4	5 日光自然教室(6年) 身体計測(2年) 夏休み作品展始	6 SC 日光自然教室(6年) 水泳記録会(5年) 身体計測(1年)	7 日光自然教室(6年) 午前授業	8 歯科検診(1~3年) 短縮時程・補習	9 SC プール納め 水泳指導終	10 あだち
11	12 安全指導	13 SC	14 あだち 午前授業	15 歯科検診(4~6年)	16 SC	17
18 ブロックソフト ボール大会	19 敬老の日	20 SC 短縮時程・補習	21 あだち 午前授業	22 秋分の日	23 SC たてわり班活動	24 土曜授業 落語教室
25	26 委員会活動	27 SC 生活科見学(1年) 短縮時程・補習	28 クラブ	29	30 SC	1

※SCはスクールカウンセラー、SSWはスクールソーシャルワーカー来校の日です。

「あだち」はあだち小学生基礎学習教室です。

補習教室



水泳教室



図工教室



ラジオ体操



鷲神社盆踊り



NHKコンクール



## ～夏休み補習教室を終えて～

教務主幹 小出 紀幸

今年度も7月末から8月にかけての10日間、夏休み中の補習教室を行いました。中学年が9時から1時間、低学年が10時15分から45分間、高学年が11時15分から1時間、国語や算数の復習に取り組みました。

普段の授業やパワーアップタイム、さらには放課後の補習などにおいて、基礎・基本の習熟や復習は年間を通して行っています。とはいえ、どの学年でも日々新しい学習が進んでいき、以前の学年の内容にまでさかのぼってじっくり復習に取り組める時間は限られています。夏休みの補習教室はこれまでの学習内容で苦手だったところをしっかりと振り返って、今年度の秋以降の学習により意欲的に取り組めることをねらいとして実施しました。

4月の足立区学力調査の結果を分析し、多くの児童が苦手としていることや、今後の学習を順調に進めていくためには必ず習得しておきたいことを精選し教材を用意しました。児童2～5人に1人の指導者がついて、プリントやワークブックを解いていく中で個別にアドバイスや丸つけをしました。

夏休みにもかかわらず、たくさんの子が補習教室に来てよく集中して課題に取り組む姿は大変立派でした。国語では漢字や基本的な文法の復習、国語辞典の使い方、説明文や物語文の読解のポイントなどを学習して力をつけました。また算数では四則計算の習熟や文章問題からの立式、小数や分数の仕組みの理解、面積を求める公式の習熟などをして、曖昧だった事柄もきちんと確認することができました。



どんどんプリントやワークブックを進めて自信を得ている顔、難しかった問題が解けてうれしそうな顔、なかなか解けないけれど粘り強く考え続ける顔、プールを前に汗だくな低学年や中学年の子、プールを終えて少しばかり眠たそうだけれど頑張る高学年の子…。補習教室では子どもたちのたくさんの表情を見ることができました。

この補習教室では、中島根小の教員だけでなく保護者のボランティアの方、中学生や高校生などたくさんの方に指導者としてご協力をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

## 日曜授業参観・道徳授業地区公開講座

道徳担当 小田桐 響子

去る7月3日(日)に、日曜授業参観・道徳授業地区公開講座を行いました。

日曜授業参観は、日頃なかなか学校にお越しになる機会がない方々にも、学校での生活や学習の様子を見ていただけたかと思います。ありがとうございました。

また、今年のだ徳授業地区公開講座では、2020年に向け「オリンピック・パラリンピック教育」の一環として全学級で道徳の授業を行い、その様子をご覧いただきました。当日、各学年が取り上げたねらいは次の通りです。

- 1年生「自分がやらなければならない勉強や仕事をしっかりと行おうとする態度を養う」
- 2年生「自分がやらなければならないことは、困難や辛いことでも努力しやり抜こうとする意欲を高める」
- 3年生「自分の特徴に気付き、良いところを伸ばしていこうとする心情を育てる」
- 4年生「正しいと判断したことは、勇気をもって正直に行動しようとする心情を育てる」
- 5年生「日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それに応えようとする心情を育てる」
- 6年生「より高い目標を立て、希望と勇気をもって挫けずに努力しようとする心情を育てる」

中でも6年生は、体育の授業とも絡め、陸上女子100メートル障害・元日本記録保持者の大朝尚子先生の体験談から道徳の授業を行いました。

このように、様々な観点から小学校6年間そして中学校、高校と時間をかけて子どもたちの道徳性を養っていきます。

平成31年4月から道徳は教科となることが決まり、徐々に移行してきます。その変化から、私たち教師は、「子ども達と触れ合い共感的に理解していくこと」をより求められるようになりました。子どもたちが自分の考えを深めたかどうか、自分の考えに自信をもてたかどうかを確認できることが、より子どもたちの道徳性を養うようになるでしょう。

道徳教育は、日々の生活全体を通して身に付けていくものです。それには、学校・家庭・地域の連携が欠かせません。今回の取り組みが、学校・家庭・地域が連携して子どもたちを見守っていくための一つの契機となれば幸いです。

これからも、ご理解ご協力をよろしく願いいたします。

